

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

飯島町

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林道安全施設設置事業
事業費 1,100,000円 (うち支援金:660,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

飯島町における森林面積は 6,274.72ha であり、総面積の 72%を占めており、民有林面積は 3,210.58ha で 51%を占めている。なお、アカマツ、カラマツ、スギ及びヒノキを主体とした民有林の人工林面積は 1,673.48ha であり、人工林率 52%となっている。

(2) 本事業の目的

上記の現状と課題に対し、木材生産を進める森林における適正な林道管理により、計画的な森林施業の実施を支援し、均衡のとれた健全な林分造成を目指すものとする。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 林道辰巳ヶ沢入線

(2) 対象者 飯島町

(3) 実施方法 公共補助林道事業の対象とならない安全施設 (ガードレール・区画線) を林道辰巳ヶ沢入線に設置した。

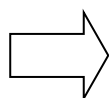
(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 2～6 年度)

飯島町 5 カ年計画により、令和 2～6 年にて総額 7,000 千円の事業計画により適切な維持管理を行なっていく。

②令和 2 年度実績

林道辰巳ヶ沢入線 安全施設設置工 (ガードレール・区画線) 1,100 千円



ガードレール
設置工



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

林内路網の基幹となるべき林道の安全対策の向上を図ることにより、搬出間伐の増大が期待できる。

(2) 継続性

当該路線は地元の身近な里山として、近年登山客が増加している。一般車も多く通行する林道であることから、事故・転落等を未然に防ぐ取組みとして事業効果の継続性を発揮できる。

(3) 普及性

林道は里山等の登山路及びトレッキング等にも活用され、観光振興の観点からも重要な路線である。また、民有林における人工林の搬出間伐を進めていく中で重要な位置づけであり、林道を基幹に作業道開設等も行なわれるため、多くの県民への恩恵が期待できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

林道における通行の安全対策を実施することにより、搬出間伐の増大が期待できる。

(2) 課題

落葉及び落石などによる施設の損傷及び効果の半減等が起こる可能性がある。災害や事故等を未然に防ぐためにも適切な維持管理を継続的に実施していく。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

引き続き、予算確保を行い安全施設の充実を図っていく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)